



第435号

2019年1月8日発行
日工同窓会広報委員会
編集責任者

瀧澤 之靖
発行人 星 憲一郎

日工同窓会事務局
日工同窓会館
〒317-0077
日立市城南町5丁目14番13号
TEL (0294) - 21 - 5237
FAX (0294) - 21 - 5241
E-mail:
dosokaij@net1.jway.ne.jp
http://nikkoudousouka.net/

印刷所
大成印刷株式会社

同窓会会員 大活躍!!

第56回 技能五輪全国大会

2018年10月27日〜12月4日に掛けて、沖縄県において技能五輪全国大会が初開催された。会場は、那覇市うるま市、宜野湾市、豊見城市と広域にわたって開催された(精密機器組立ではAMS技能技術教育センター)。

この大会に56名の同窓生が参加し、うち金賞2組(2名)、銀賞10組(11名)、銅賞5組(5名)、敢闘賞10組(11名)と昨年に引き続き見事な成績を残した。普段の訓練と大きく異なる沖縄という環境の中、精一杯課題に取り組んだ選手各位に敬意を表したい。

◎金賞



電気溶接
吉田 悠太氏
(102卒・日立・土浦)



機械製図
沼畑 辰也氏
(102卒・日立ハイテク)



電気溶接
三代 和弥氏
(101卒・日立)



メカトロニクス
渡邊 湧芽氏
(101卒・HMS)



メカトロニクス
大内 詩史氏
(101卒・日立ハイテク)



精密機器組立て
橋本 可成氏
(101卒・日立AMS・佐和)

◎銀賞



旋盤
塩澤 隼人氏
(103卒・日立・土浦)



工場電気設備
黒澤 翔斗氏
(103卒・日立・大分)



工場電気設備
小姓堂和也氏
(102卒・日立・大分)



構造物鉄鋼
遠藤 啓太氏
(102卒・日立)



抜き型
森山 晴貴氏
(102卒・日立AMS・佐和)



電気溶接
川崎 清勝氏
(101卒・日立パワ)



電気溶接
小泉 拓也氏
(101卒・日立・土浦)

今号の主な内容	
技能五輪全国大会特集記事	1, 3, 16面
会長挨拶、代表副会長挨拶	2面
支部長年頭挨拶	4面
黄綬褒章を授章して	5面
「亥年」今年の抱負	6, 7面
「現代の名工」「卓越した技能者」受賞者	8面
県南・日立南地区懇親会	9面
学校だより	10, 11面
本部会員の頁	12, 14面
社内外表彰・消息・編集後記	15面



同窓会ホームページはスマートフォン等からも上記のQRコードを読み取るだけで簡単にアクセスが可能です!

会長挨拶

山崎 一平



明けましておめでとうございます。年始にうございませす。年始めに当たり、モノづくりの底流を支えている私たちが目指す人財像について、三つ考えてみました。①仲間に対して、関心と支援を心掛けよう。②自己の成長の為に挑戦を続けよう。③組織目標達成に向け、周囲の人を巻き込み、活用しよう。これらを踏まえて、私の思いを紹介します。

私たちは、対立している二つの言葉を対比させて、言葉を理解する事があります。関東と関西、白と黒、アナログとデジタルなどです。ただ、これらの言葉同士が、本来の意味で、反対かどうかは疑問です。ここで三つ、質問をさせてください。第一問、「誉める」の反対は何でしょうか？答えは「叱る」ではありません。私は、無関心だと思えます。誉める・叱るは、

共に相手の成長を支援したいという思いがあります。誉める時は、大げさに、すぐに、感情的に。叱る時は、短く、間を置いて、冷静に行つて下さい。第二問、「成功」の反対は何ですか？これも「失敗」ではありません。成功と失敗には、共通する言葉があります。それは、挑戦です。従つて、成功・失敗の反対は、挑戦しない事です。挑戦するからこそ、失敗も成功もできる。大切な事は、失敗した後、振り返り、学ぶ力をつけることです。失敗から学べる人は、大器晩成、将来大きく育つことができます。第三問、「無駄」の反対は何でしょうか？初めにこの問いを聞いた時、私は「効率かな？」と思いました。皆さんは、部品や設備が、うまく機能しない場合など、無駄だと感じたら、どう反応しますか。いつまでも保有していても仕方がないな、と処分することを考えますか？それとも、別の利用方法はないかと検討するでしょうか？無駄の対象は、モノだけではなく、人に対しても、そう感じる時があるかもしれません。例えば、部活

動で、レギュラーが有用で、補欠ではチームに貢献できないのか？そんなことはない。トレーニング計画の立案など、レギュラー以外も、自身の役割を意識して活動を始めると、チーム全体も活性化し、総力で強い組織を作っていくことができます。そう考えていくと、無駄の反対は、活用かなと、思い当たりました。

人に関しても、私たちは、ともすれば、短期的な視点で、有用か無用かと、判断しがちです。「誰もが貢献したいと願っている。」「世の中に無用な人はいない。」「それに気づき、活用できれば、組織はもっと強くできます。人財育成の根幹である、関心、挑戦、活用の三つのキーワードを意識して、今年も勢いよく、安全に、明るく活躍していきましよう。



代表副会長挨拶

星 憲一郎



新年明けましておめでとうございます。どうぞございます。会員の皆様におかれましては、素晴らしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より同窓会本部の活動に対し、ご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国で自然災害に見舞われた年でした。2018年の漢字一文字でも「災」の文字が選ばれたくらいです。ご家族や親類知人の中に被災された方もいらっしゃるかと思います。改めまして、お見舞い申し上げます。

さて、日工同窓会の一年を振り返ってみましょう。2018年度活動方針として、会員の自己研鑽と後進の育成、支部・地区活動支援による組織活性化と地域貢献を掲げました。その上で、私たちの基本理念である「わ

れら日立の底流たらん」を実践すべく、活発に活動を展開して参りました。その代表的な成果として、第56回技能五輪全国大会に同窓生が挑み、輝かしい成績を残すことが出来たものと考えます。

一方で、同窓会活動においては、女性会員に光を当て、初めての会合を持つことができました。さらには支部の行事に、役員が参加すると共に、支部を超えて、より拡大・発展させた地区活動も展開しました。本年も、多くの会員が、楽しく参加できる催しを行い、さらなる活性化を図っていく所存です。

本部としては、来る100周年記念事業である100周年記念総会の準備委員会を昨年2月に立ち上げる事ができ、順調に準備を進めているところであります。

本年も本部役員一同、会員・支部・地区活動支援に全力で邁進して参ります。皆様におかれましては、同窓会活動に対し、昨年と変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

第56回 技能五輪全国大会入賞者紹介

◎銅賞
(金賞・銀賞は1面にて紹介)



電気溶接
松塚 豊氏
(101卒・MHP.S.:日立)



機械組立て
鈴木 笙太氏
(102卒・MHP.S.:日立)



抜き型
柴田 寛斗氏
(102卒・日立A.P.:多賀)



抜き型
小倉 佑介氏
(102卒・日立A.M.S.:佐稲)



精密機器組立て
吉岡 秀訓氏
(102卒・日立A.M.S.:佐稲)



◎敢闘賞



精密機器組立て
長嶋 啓太氏
(101卒・日立A.M.S.:佐稲)



機械組立て
山本 大珠氏
(102卒・MHP.S.:日立)



メカトロニクス
相沢 弥氏
(102卒・日立A.I.E.T.:)



メカトロニクス
小室 祐貴氏
(102卒・日立A.I.E.T.:)



電気溶接
飯村 遼氏
(102卒・日立)



電気溶接
三浦 涼氏
(102卒・HBS)



電気溶接
照山 大樹氏
(102卒・MHP.S.:日立)



フライス盤
川又 隼斗氏
(102卒・MHP.S.:日立)



旋盤
戸室 直也氏
(103卒・日立)



電気溶接
佐藤 昂氏
(103卒・MHP.S.:日立)



電子機器組立て
石崎 潤氏
(103卒・HBS)

「沖縄大会」取材(Ⅰ)

技能五輪全国大会が初めて沖縄県で開催されました。

過去の大会であれば、開会式や閉会式は体育館等の屋内を使用しますが、今回の沖縄大会においては、屋外の陸上競技場(奥武山公園陸上競

技場)にステージやスクリーンを設けて、行われました。見晴らしも良く、大人数が参加する式典には文句無しではありますが、連日雨が激しく降り続く状況であったため、閉会式も土砂降りに見舞われ、ずぶ濡れで閉会式に臨むものと覚悟を決めていました。
しかし、驚いたことに閉会式当日は奇跡的に天候が回復し、太陽が時折り雲の切れ間から顔を出し、汗ばむ程に気温が上昇しました。
その表彰式では、各競技の受賞者が呼ばれる度に大歓声が上がりが、そ

◀沖縄空港看板



奥武山公園陸上競技場ステージ



表彰式 ステージ

の熱気は例年と変わらず熱いものでした。
その中で、女性会員懇談会を通じて面識のあった選手から感想をいただきました。

【電子機器組立て】

金子真由美(102卒・HBS) 今まさに技能五輪の競技を終えて、「出来ることはやったつもりです。緊張もあつたので本来はもう少し出来たかなと思うところはあります。あと1回チャンスがあるので可能であれば挑戦したいです！」



職種別の取材は、次号に掲載いたします。

支部長年頭挨拶

日研支部 矢口 尊(65卒)



員の皆様、明けましておめでとうございます。皆様には良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、日研支部は、日立研究所(日立市大みか町)に拠点を構え、会員数19名で活動しております。日立研究所は、本社の研究開発グループに属しており、日立グループの各事業部からの依頼を受けて、様々な製品の研究開発に取り組んでおります。また、2018年2月には研究所発100周年を迎えまして、日立研究所を挙げて記念行事を盛大に開催しました。

日研支部も発足して55年が経過しましたが、年々会員数が減少しており、日立研究所内での存在感も薄れてきているため、支部活動を通して同窓会をアピールする事を心掛けています。

その一環として、会社主催の行事である通勤路清掃活動(ポランティ

ア)へ年4回参加し、定期的に開催しているボウリング大会やビアパーティ、総会などを日研新聞へ掲載してPR活動に励んでいます。

一方、他支部との交流も積極的に行っており、日立南地区4支部(大みか支部、多賀支部、国分支部、日研支部)で毎年ポイント卒回別に会員を招待して懇親会を開催し、親睦を深めることにより横の連携を図っております。

2018年は、支部会員が厚生労働大臣表彰である卓越した技能者「現代の名工」を授賞しました。日立研究所からは46年ぶりの授賞です。さらに、支部会員から特称任用や茨城県ものづくりマイスター認定をされるなど、日研支部にとっても嬉しいニュースの多い年になりました。今後も会員が増えることを期待しながら、会社への貢献を忘れずに会員全員で活動して行きたいと思っております。

最後になりますが、日工同窓会のさらなる発展と会員の皆様にとって良い一年となりますよう、心より祈念申し上げます。



那珂支部 路川 義博(73卒)



新年あけましておめでとうございます。新年号が始まる節目の年、皆様方におかれましては良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

那珂支部は(株)日立ハイテクノロジーズ、(株)日立ハイテクマニュファクチャ&サービス、(株)日立ハイテクソリューションズ所属の会員で構成されており、九州大牟田や埼玉での遠隔地勤務の人たちを合わせ総勢259名で活動しています。2015年度からは最初の女性会員の受け入れが始まり、それからは毎年のように新入会員に配属をいただいています。現在まで女性会員5名が在籍し、うち2名が技能五輪選手として日々厳しい訓練の場に身を置きながら活躍をしています。

昨今、当社における技能五輪代表選手の活躍は目覚ましく、毎年のように各職種からメダリストを輩出しています。昨年11月に行われた第56回技能五輪全国大会(沖縄大会)においても、機械製図が金、メカトロニクスが銀、敢闘賞と後輩たちが素晴らしい成績をおさめました。

那珂支部は、日立ハイテク製品のモノづくりにおいて他社が真似のできない技術や技能を強みにし、日立ハイテクスピリットである「チャレンジ」「スピード」「オープン」「チームワーク」で事業発展に貢献する技能集団です。また、技能五輪で世界を目指す選手、指導員を誇りに思い同窓生の絆で以ってこれからも応援し続けて参ります。

最後になりますが、日工同窓会の更なる発展と会員の皆様のご多幸を心からご祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

石神支部 滝 政信(88卒)



日工同窓会の皆様新年あけましておめでとうございます。皆様には良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

石神支部が属する日立化成株式会社、山崎事業所(勝田工場)では、半導体製造用装置セラミック部品、電気自動車用バッテリー材料、半導体ウェハー研磨用のCMPスラリーを製造しております。石神支部の会員数は総勢26名、

二十、三十代が多く在籍し活動しております。2018年を振り返り、まず石神支部全員が無事故、無災害また健康で過ごせたことに支部長として「ほっ」としております。これも各会員の安全への高い意識だけでなく現場の諸先輩方及び上の方々のご指導のおかげと感謝しております。会員数が少なく、約半分が交替勤務に入っているため日工同窓会活動があまり進まない状況ではありますが、今年度から役員を若手(十九〜二十四才)から選出し、活動の活性化を図っております。

一方で、日立化成を取り巻く状況は大変厳しい一年でありましたが、2019年は、亥年(正確には己亥ですが)、会社でも、日工同窓会でも、成果を出すべく、猪突猛進してまいりたいと思います。

最後となりましたが、日工同窓会の更なる発展と皆様にとって良い1年になりますよう心からご祈念申し上げます。



「黄綬褒章」を受章して

株式会社日立産機システム
事業統括本部

受変電制御システム事業部 製造部

清水頭 孝悦(65卒・国分)

この度、平成三十年秋の褒章伝達式が十一月十四日に厚生労働省において執り行われ「黄綬褒章」を拝受

させていただきました。その後、皇居宮殿「豊明殿」において夫婦同伴で天皇陛下に拝謁を賜り、この上ない喜びと感動に包まれ非常にありがたく幸福の極みでありました。これもひとえに事業所幹部を始め工場を支えてくれた皆様方のご指導ご鞭撻の賜物であり心より感謝しております。

また、今回は同じクラスで学んだ日立ハイテク勤務の鈴木房志氏と同



時受章となり喜びもひとしおです。日専校在学中にご教授いただいた先生方や先輩・後輩達に深く感謝申し上げます。当時の厳しかった寮生活等々は、今でも良き思い出として心に残り苦しい時の糧となつて今日に繋がっております。

私は昭和五十五年に日専校を卒業し国分工場へ配属となり、技能五輪構造物鉄工職種の選手や指導員の貴重な経験を通して「和」一人の繋がりと協調性の大切さ、「誠」モノづくりに対し自分に正直で妥協しないこと、「開拓者精神」作業方法に工夫を凝らして改善を継続すること等まさに学校で学んだ日立精神そのものを叩き込んでいただき、これが私の原点となっております。

業務では、発電所や変電所・ビル等に使用している配電盤を製作しており、薄板製作・溶接業務一筋に工場生活を送ることが出来、職場環境にも恵まれて面倒見の良い上司や先輩、良き同僚に囲まれて和気藹々と有意義に過ごしております。私の受変電部門は、間もなく六十年を迎える

伝統ある職場ですが、黄綬褒章は初めての受章であり関係者の皆様方より非常に喜んでいただいております。長年に亘り、諸先輩方が築いて来られた配電盤の製造職場に対する技能・技術が国から認められたことを誇らしく思うと共に、入社当時からお世話になった諸先輩方を始めとし現在共に働く後輩達まで、関係された全ての皆様を代表して受章させて

株式会社日立ハイテクノロジーズ
科学・医用システム事業統括本部
那珂地区生産本部 製造部

鈴木 房志(65卒・那珂)

平成三十年秋の褒章に際し、はかrazも業務精励により黄綬褒章の榮譽に浴しました。これまでご指導を賜った全ての皆様方、技を磨きあう仲間、基礎を教育していただいた日専校に心より感謝を申し上げます。



いただいた事は、誠に感慨深いものがあります。

今後は、この褒章の名に恥じぬよう自覚と責任を確りと持つて、諸先輩方から受け継いだモノづくりのDNAを後輩達に伝え、遣り甲斐のある安全で明るい職場を目指し社会貢献出来るよう研鑽に努めて参りますので今後共、ご指導いただきますようお願いいたします。

其の1…いま考えていること。

「Tig and Pen」それは過ぎたこと英語に不得手ながら軸足にしている言葉です。その意は、新しいことへ挑戦する意欲を失わないために「心への問いかけ」です。同じことを繰り返せば失敗しないけれど成長しません。でも、少し工夫することで新しい局面を発見することが出来ます。また、大きな挑戦をすると失敗したり、上手く事が運ばなかったりすることがあります。このとき悩み考えてしまいます。しかし、「悩む」と「考える」は全く違います。「悩む」ことよって何かアイデアが浮かんでも、すぐに行動はしません。一方で「考える」ことは、理論的に物事をとらえ、解決策を探るために頭を

使います。悩んで弱い気持ちでいれば弱い存在になってしまいますので、一端立ち止まり悔恨の情を抱いたならば、後は強い気持ちを持ち前に進むべきです。行動に移すことが大切です。

其の2…出会で感じたこと。

ある作陶展で心奪われました。それは、三百六十年の歴史を誇る九谷焼に描く、赤絵細描という絵付けの美しさです。一ミリの幅に三本の細線を引き、「花」「升目」などを描きます。技を極めた作者の精緻な筆裁き、陶器と筆、弁柄の持つ古色の美、作業場、全てがあい混じり調和が整えられていました。何故心奪われたか。①「作品の美しさ」。②「卓越した技と独特の世界観」。③「お客様の支持が無いと技は残らない」。どんなに優れた技を持っていても、お客様が手に取って喜んでもらえなければ、製作する機会と場は確実に失われます。獲得した技だけに安住してはいけません。

其の3…式典で決意したこと。

褒章受章者代表として天皇陛下に謝辞を申し上げた八十七歳の和楽器組立工と話す幸運に恵まれました。「私は一介の三味線づくりです」言葉の奥に、自らの職業的あり方を貫き、それに堪える能力を持ち得た品格を見ました。これからも学びます。

「亥年」

今年の抱負

二〇一九年



「毎年今年こそ！
にならぬよう」



塩谷 邦洋
(75卒・豊浦)

新年明けましておめでとうござい
ます。

40歳を過ぎた頃から一日一日がと
ても早く感じ、気付けば只今、年男
の原稿を書かせていただいております。
日専校を卒業し約30年、入社時
から増えた体重も30kg、このまま
じゃいけないとダイエットに挑戦し
た回数30回、今では昔の友人とすれ
違っても気付かれず声を掛けられな
い体型まで進化してしまいました。
毎年、抱負などを考えたとき、色々
やりたい事、行きたい場所等が頭を
よぎりますが、まずは健康！この歳
になると若い頃には意識もしなかつ
た健康という二文字の大切さを実感
します。今になってアントニオ猪木
氏の決め台詞でもある『元気があれ

ば何でも出来る！』という言葉が胸
に響きます。あとは自分の意思次第
実はそこが一番難しいのですが、『意
志あるところに道あり』年男を機に
今年こそはダイエットに挑戦します。
在校生、同窓会の皆さん！そうです
元気があれば何でも出来るのです！
今年こそ一緒にがんばりましょう！
.....

「今年の抱負」



松尾 雄二
(75卒・山崎)

新年明けまして、おめでとうござ
います。

日専校を卒業して30年を迎えよ
うとしています。白髪交じりのおじ
いさんになり、4回目の年男を迎え
ました。これまで無事に会社生活を
送ってこれたのも、職場の仲間上司
など、多くの仲間を支えられて来た
ことと、大変感謝しております。
さて、思い返せば公私共に色々な

体験、経験してきました。40代も後
半になり、無理が利かなくなつた今
では、安全、安心、安泰な生活を送
りたいと思います。

今年は何がかわり、新しい時代
が始まります。安全、安心、安泰な
時代になることを願っています。

最後に会員の皆様が今年1年、健
康で元気に、楽しく過ごせることを
祈念し、今年の抱負とさせていただきます。
.....

「今年の抱負」



岡部 悟
(75卒・日研)

新年あけましておめでとうござい
ます。

日専校を卒業して30年、4回目の
年男を迎えることになりました。気
が付けば会社生活も2/3が過ぎて
います。最近特に時が経つのは早
いと感ずるので残された時間を有意

義に過ごしていきたいと思ひます。

年男とは？と思ひ調べてみました
が、生まれた十二支の年を迎えた男
のことで、年神様のご加護を多く受
けることができるようです。今年の
運は最強ということでしょうか。宝
くじでも買つてみようと思ひます。

最近では、息子も成人し自由な
時間が多いため、休日には気楽に旅
行を楽しみたいと考えています。車
の運転が好きなので、高速道路SA
スタンプラリーや道の駅スタンプラ
リーで全国を巡る旅もおもしろそう
かなと計画しているところです。

最後に、同窓会の皆様方において
は健康で実りある年をお過ごしいた
だくことをお祈りいたします。
.....

「充実した1年へ」



飯島 徹也
(87卒・五井)

新年、明けましておめでとうござ
います。

月日が経つのは早いもので気が付
くと入社してから18回目の新年を迎
えることになりました。ここまで来
れたのも職場の上司や同僚、そして

同窓会の支えがあつたことだと思
います。大変ありがたいことと思
います。職場の方ではありがたいことに後
輩も増えてきて、教わる側から教え
る側へとなつてきて、指導する事の
難しさを痛感させられているととも
に新たな気付きも有り充実した日々
を過ごしています。

しかしながら、プライベートでは
今年は何をしようかとまだ画策して
いる最中です。みなさんおすすぬめが
あれば是非教えてください。まずは
浅く広くやってみて一生モノの何か
に出会えるそんな年にしていきたく
と思ひます。

仕事であれ、プライベートであれ
充実した毎日を送るにはやはり健
康という資本が一番大事になります。
大好きなお酒を少しでも長く楽しむ

(7頁へ続く)



(6頁の続き)

ためにも体調管理をしつかり行つていこうと思います。

今年もよろしく願います。

「今年の抱負」



奥谷 幸太
(87卒・SH
カッター)

新年明けましておめでとうございます。

同窓会会員の皆様を初め、沢山の方に支えられ無事に三度目の「年男」を迎える事が出来ました。

昨年は土浦工場で新しい職場を立上げにあたり4か月間、大阪の吹田工場へ実習に行かせていただきました。帰任後、大きな設備が次々と立ち上がりひとつの職場が出来上がっていくという現場に携わる事になり、これまでの会社生活を振り返つても大きな転機となった1年でした。量産に向けて微力ながら頑張つていきたいです。

今回の異動を機に、沢山の出会いがあり、色々な人や色々な場所での考え方に触れる事が出来たことも今後の大きな経験となると思います。

また、先日行われた近隣工場でのイベントで日専校のブースがあり、懐かしい制服姿の後輩たちが、訪れた子供達とペーパークラフトなどで

工作する姿を拝見する事ができ『作る事』楽しい事』という原点を教わった気がしました。

3度目の「年男」を迎えても日々勉強ですが、皆様の力を大いに借りながら今年も安全第一で過ごして参りたいと思います。

「今年の抱負」



藤田 涼平
(99卒・石神)

新年あけましておめでとうございます。

月日が過ぎていくのは、早いもので会社生活が始まって5年を迎えようとしています。

日専校を卒業し、これまで無事に会社生活を送つてこられたのも職場の方々や日専校の先輩、後輩など多くの皆様に支えられてきたこと、大変感謝しております。

さて、私の今年の抱負ですが、昨年より始めておりますゴルフを、

もつと上達する事です。

昨年は自分が思ったような記録を出すことができなかったため、練習を積み重ねて目標の記録を出せるように日々精進していきたいです。

皆様も無理をしない程度に高い目標に挑戦してみたいかがでしょうか？

「今年の抱負」



工藤 忠祐
(99卒・群馬)

新年明けましておめでとうございます。

月日の流れるのは早いもので、会社生活5年を迎えようとしています。仕事にもそこそこ慣れ、職場に後輩も続々と入ってきており、負けていけないと邁進する日々です。

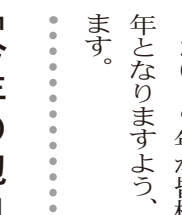
2019年の抱負といたしまして私が掲げますのは何よりも健康第一です。昨年は特に大きなけがや病気もなく風邪一つひかない健康な一年を過ごせたので、今年はそのしつぱ返しが出来ないかとヒヤヒヤしています。と言いますのも、年男と聞くためだけにイメージがつきがちですが、

Goon先生によると男性の24歳は厄年なので、しっかりと厄払いをして

平穩無事な一年を過ごせるようにしたいです。先輩たちから話を聞くと、厄年は何かしら不運なことが起こっているそうなので、なるべく不幸な目に遭うことが少ないよう祈るばかりです。その他の目標としては、昨年同僚の方々とプライベートで沖縄旅行をしたので今年もどこか国内旅行に行けたらなと考えております。

2019年が皆様にとって良い一年となりますよう、お祈り申し上げます。

「今年の抱負」



吉田 拓司
(99卒・建機)

新年明けましておめでとうございます。

月日が流れるのは早く、社会人としての生活がスタートしてから5年が過ぎようとしています。学生の頃は、社会人として早く働きたいと常に思っていました。環境の変化、戦力になれるかのプレッシャーなどもあり、失敗も多くしてきた事を鮮

明に思い出します。その様な中でも、職場の先輩たちに支えていただいたおかげで、ここまでやってこれました。

プライベートでは、体調を崩すことがあり、体調管理をしつかり行っている状態とは言えませんでした。体調が万全な状態であれば、仕事もプライベートも充実して送れると思いますので、今年一年の目標を「健康第一で過ごす」にしたいと思

ますが、まだまだ至らぬ部分が多くあります。新しい事にどんどん挑戦し、向上心を持つて今後の社会人生を送っていきたいと思

最後にありますが、同窓会会員の皆様の今年一年がより良いものになりますよう祈念し、私の抱負とさせていただきます。



平成30年度厚生労働大臣表彰

「現代の名工」を受賞して

株式会社日立製作所
研究開発グループ

日立研究所 企画室 試作センター

高木 誠吾 (63卒・日研)

この度は、会社より推薦をいただき平成30年度卓越した技能者の表彰「現代の名工」という名誉ある表彰を受賞させていただくことが出来ました。受賞の影には、今まで職場を築きあげて来られた先輩方の取り組みと、現在、一緒に仕事に取り組んでいる後輩達の力添えのお陰だと確信しております。私自身、日専校2年生の実習から今日まで現在の職場で業務を続けてきましたが、自分が持っている技術技能の程度は職場以外まったく無知で井の中の蛙でした。

しかし、研究所の試作部門という特

別な職場であったお陰で研究開発装置や多種多様な試作製品作りに携わることとで多くの技術技能を身に付けることが出来ました。

技能を向上する事にあたっては、先輩方より教えていただく事も多々ありましたが、先輩の作業風景や治工具を見て、それらを真似て製作しながら自分の引き出しを増やすようにと教えていただきました。

なぜなら、多種多様な加工には1日に何度も段取り替えを行い、作業毎に異なった大きさ・形状・材質の加工に取り組まなければならないからです。今になり少しその意味が理解できるようになりまし。

日立研究所は世界No.1技術の創生を目指しており、優秀な研究者が多く、私



たちはモノづくりの強みを活かして世界No.1の製品開発に貢献するという方針を掲げ日々取り組んでおります。近年のモノづくりには高精度が要求され数値制御だけでは頼りきれないところが多く、汎用機械(旋盤)において絶妙な感覚を頼りに作業することが求められて

おります。

このように苦勞して手掛けた試作品が研究者を通してNo.1技術となり事業部で製品化され、世の中に出たときはこの上なく嬉しく励みになりました。40年以上これらの作業に携わってきた経験、培ってきた技術を後輩に伝承

いたします。

平成30年度茨城県知事表彰

「卓越した技能者」5名が受賞

(株)日立産機システム勝田事業所

配電盤・制御盤組立・調整工

佐川 宏智氏 (66卒・国分)

長年にわた



り配電盤・制御盤の組立・配線業務に従事し、培った知識と卓

越した技能により、業界の第一人者として評価されている。また、技能検定委員として技能検定試験実施に尽力するほか社内競技大会では多数の優勝者を輩出し、技能者育成に大きく貢献している。

三菱日立パワーシステムズ(株)

製かん工

柏口 康治氏 (68卒・日立)

長年にわたり産業用ガスタービン燃焼機器部品の製缶、溶接業務に従事し、耐熱超合金の製缶溶接に卓越した技能を有し燃焼機器製作技能の

し研究所の発展と社会に貢献して行きたいと思っております。最後になりましたが、ここまで育ていただいた緒先輩方、職場同僚への感謝と受賞するにあたり推薦していただいた関係者の方々に深く感謝いたします。



第一人者と言われていた。また、社内及び社外のパートナー会社に精神的に足を運ぶ、技能指導に加えて安全と品質の面でも後進の人材育成に取り組んでいる。

日立オートモティブシステムズ(株)

電子機構部品組立工

鈴木 希一氏 (71卒・佐和)



長年にわたり電子機構部品組立として従事し、電子回路接続を主とした卓越技能を有し、様々な設備を自動化するなど生産性向上に大きく貢献した。また、海外拠点の現地スタッフに製造技術を伝承し短期間での立上げに貢献したほか、技能検定の実技

日立オートモティブシステムズ(株)
金属手仕上工

橋本 克巳氏 (72卒・佐和)



長年にわたり金型加工業務の各種精密手仕上げ加工に従事し、特に金属手仕上

について卓越した技能を有し、業界の第一人者と評価されている。また、技能検定の指導員として成績優秀者を含め多数の合格者を輩出するほか、技能五輪抜き型職種のアドバイザーとして技能教育の推進に尽力している。

(株)日立製作所サービス&プラック
フォームビジネスユニット
プリント基板組立工

門馬 一雄氏 (73卒・大みか)



長年にわたりインフラ事業の制御盤に使用されているプリン

ト基板組立・試験業務に従事し豊富な知識・経験と優れた技能を有し、職場の第一人者として評価されている。また、新人・若年技能者に対するトレーナーとして、技能面・安全面及び躰教育を通じて多くの若手を育て上げている。指導員として多くの合格者も輩出している。

「県南地区合同懇親会」開催される

去る11月16日(金)に県南地区3支部(土浦・SHカッター、建機)の合同懇親会が約40名の参加者を得て、建友クラブで開催されました。初めて参加した若手会員から感想が寄せられました。



服部 貴大(103卒・建機)

日専校を卒業してから初めての支部行事に参加しました。初めての支部行事でしたが、久しぶりに会った同級生や先輩とコミュニケーションが図れ、会が進むにつれ様々な支部の様々



年代の先輩方と色々な話題で盛り上がり、今後の社会人として会社生活を活かしていく上でとても良い経験

日立南地区懇親会を開催

11月22日(木) 泉山クラブにおいて、「日工同窓会日立南地区懇親会」が開催された。

日立南地区は2008年度に発足し、大みか・多賀・国分・日研の4支部で構成されており、今回は大みか支部が幹事支部として実施した。

11回目の開催となる今回は、63回卒・75回卒・90回卒・99回卒の方々に参集いただき、その他にご来賓や役員を含め総勢48名で、盛大な交流会を開催することが出来た。

懇親会では、小林地区長(73卒・大みか)の挨拶に始まり、ご来賓で同窓会本部の松浦総務主査(75卒)よりご挨拶をいただいた後、乾杯の音頭により開会となった。

各卒代表のスピーチも行われ、特に63回卒の大先輩からは、懐かしい思い出話や同窓生の絆、これからに期待することをアドバイスしていた。日頃接する機会の少ない他支部の同級生や先輩、後輩と昔話で盛り上

験・勉強になったと思います。懇親会の最後には全員で肩を組み合い、寮歌と校歌を斉唱して日工同窓会の繋がりを肌で感じる事が出来たので、今後もこの様な機会があれば、参加したいと思えます。



がり、楽しくとても有意義な時間を過ごすことが出来た。結びに出席者が輪となって校歌を斉唱したが、「寮歌も是非やろう」とのリクエストがあり、会場の皆が大声で斉唱した。そして次期会長の森山副地区長(73卒・多賀)より締

厚木支部 新人歓迎会開催

12月1日(土)、厚木支部にて新人歓迎会を開催した。

この時期に毎年恒例となっている新人歓迎会は、104卒予定の日専校在学中で配属先事業所で実習を行って3年生の生徒を対象に実施している。

厚木支部へ配属予定の生徒は、技能五輪候補生であり、12月半ばに(日立AMS)グループである佐和事業所へ異動し、訓練を開始することからこの時期に新人歓迎会を開催している。特に今年

は厚木での実習期間は11月26日から12月14日と短期間であることから、厚木支部会員のみの緊急開催となった。緊急開催であったことから、子供を連れての参加となった会員もおり、厚木支部ならではのアットホームな雰囲気を感じられる。

この新人歓迎会で実習生が厚木支部会員と面識を作ることをきっかけに、短い期間の中でも有意義な実習期間を過ごしてもらい、技能五輪訓練をスタートしてもらいたいとの厚木支部特有の方針である。新人も歓迎会終了時には、多くの先輩方と懇親を深めており、頼もしい限りであった。

武隈 秀一(89卒・厚木)

南 循也(95卒・大みか)



学校だより

2019年度

高等課程73名合格

2019年度高等課程生の入学試験が12月5日(水)、6日(木)に実施された。今年度は本校の他に仙台と上野の3箇所を実施され、184人が受験した。北は北海道、南は熊本と配属先に関わらず、受験地域が広がっている。両日は晴天に恵まれ無事入学試験を終えることができた。厳選な選考会を実施し、12月17日(月)ホームページに73名の合格者番号が発表となり、結果通知が中学校宛に発送された。入学確約は正月明けになる。



受験風景

専門課程生と2年生が
剣道一級に挑戦

12月19日(水) 昨年に引き続き2年生83人および専門課程生9人を対象に剣道一級審査が実施された。専



実技審査



専門課程生形審査

門課程生は全員入学後に竹刀に触つたものばかりで週一時間の剣道授業での挑戦である。専門課程生のほとんどは、前日に配属先事業所の訪問を終えて、緊張が解けた状況でリラックスして審査に挑戦することができた。専門課程生にとっては良い記念である。審査結果は全員合格で、成績上位の専門課程生2名、2年生23名が2月3日(日)の初段の審査にチャレンジすることとなった。

マラソン大会実施

12月20日(木) 青空の広がるひたちなか海浜公園内ゲート前を10時15分総勢17人がスタートを切った。例年1月に実施していた校内マラソンだが、ここ2年ほど悪天候などで中止となっていたため山崎校長の提案で12月に実施することとなった。コースは公園内を男子が2周の10k



耐寒ランニング

m、女子が1周の5kmとなった。1週間前からの耐寒ランニングと体育の授業及び部活練習で耐久力がどれくらい鍛えられたかがわかる時である。結果は全員1時間以内でゴールすることができた。中でもトップ争いは熾烈で陸上部員2名がゴールまでデッドヒートを続け、ほぼ同時にゴールし大会記録を更新した。また、部活対抗ではバスケットボール部が栄えある6連覇を達成した。総じて新記録の多い素晴らしい大会となった。

◆結果
個人の部・男子

- 1位 2 M 2 田澤 大 (32分50秒)

- 2位 1 W 伊藤 良尚
- 3位 1 E 大塚 元太

個人の部・女子

- 1位 1 M 佐藤 友咲



スタート

部活の部

- 1位 バスケットボール部

- 2位 サッカー部

- 3位 野球部

- クラス対抗 1位 2 M 1

日専寮

食事サポート募集!

都合の良い曜日、時間でのお手伝いで結構。近辺の知人、友人を紹介下さい。

日専寮：0294-28-5016

事務局：0294-21-5237



女子1位 (佐藤 友咲)



1位2位のデッドヒート (左1位 田澤、右2位 伊藤)



消火訓練



後期中間試験

後期中間試験と 寮避難訓練実施

11月29日(木)30日(金)に後期中間試験が実施された。昨年に比べ試験日が数週間前倒しとなった。
また、2日目の試験終了後には寮の避難訓練が実施された。緊急時の避難手順や動きについて寮生全員が再確認した。あわせて消火訓練をして消火器の使い方をおさらいした。



12月7日(金)《MHP S会・日立会》2018年度 課対抗駅伝大会が(日)構内で昼休み時間に実施され、本校陸上部が参加した。優勝

〔日〕課対抗 駅伝大会準優勝

全国私立通信制高等学校協会主催『私の主張』作文コンクールにおいて宮内日菜(2年電気科)が、全国高等学校通信制教育研究会会長賞(上位3番目に値する賞)を受賞した。タイトルは「大切にしたいこと」で、要旨は次の通り。日専寮での生活を通して、良好な人間関係を築くための肝は円滑なコミュニケーションだとわかった。しかし、これは特別なことではなく、日常当たり前に使う「ありがとう」や「ごめんなさい」

『私の主張』 作文コンクール入賞



を狙ったがあと一歩力及ばず13チーム中、昨年と同様の2位で終わった。来年度は是非総合1位を勝ち取りたい。



(科技高)生活体験発表会にて

日専校の主な行事予定 (2019.1.8~2.28)

～ 応援お願いします!～ *各部活とも県大会の予選が始まります

- ☆バレーボール部 2/1(金)、3(日) 県新人大会(池の川さくらアリーナ)
- ☆卓球部 1/12(土)、13(日) 県北新人大会(会瀬体育館)
- 2/1(金)、2(土) 県新人大会(個人)(霞ヶ浦文化体育館)
- ☆バスケットボール部 1/12(土)、13(日)、2/1(金)、2(土) 関東高校新人大会県予選(取手松陽高校他)
- ☆ソフトテニス部 1/13(日) 日立市協会長杯(日立市民運動公園)
- 1/26(土)、2/2(土) 県北地区高校シングル選手権大会(日立市民運動公園)
- ☆剣道部 1/24(木) 県新人大会兼全国選抜大会県予選(男子団体)
- 1/30(水) 県新人大会(男女個人)
- ☆陸上部 2/1(金) 県新人駅伝大会(笠松運動公園)

学 校 行 事

- 1/18(金) 専門課程 技能照査実技試験
- 1/27(日) シーケンス制御3級検定(学科)
- 1/29(火) シーケンス制御3級検定(実技)
- 2/3(日) 剣道初段確認試験(2年、専門技能上位者)
- 2/8(金) 技能五輪電気溶接県大会
- 2/15(金) 工場実習代表発表会、寮部屋替え
- 2/18(月)、19(火) 学年末試験
- 2/21(木)、22(金) 1年生工場見学
- 2/21(木)~3/3(日) 2年生海外研修

北茨城・(勿来)地区懇親会

第20回を記念し、華やかに行われる

2018年10月27日(土)、心地よい秋風が磯の香りを奏でる磯原「豊島屋」にて、北茨城・(勿来)地区の懇親会を9人の参加で開催した。毎年この時期に実施しており、今回が20回目の記念懇親会である。開会に先立ち、毎回出席されていた鈴木康宏さん(28卒)と一昨年来まで通信員を務めていた富永亨さん(44卒)のご冥福を祈り黙とうを捧げた。

矢萩明地区長(52卒)の司会で始まり、本部の状況を説明後、「出席者を多くするにはどうすべきか」について議論した。案としては①同期生に勧誘を推進②今回の懇親会の盛り上がり状況を写真等の資料にまとめ、次回の案内に盛り込むなどが提案され、実施することとした。



平成最後の懇親会、新しい元号と共に新たな一歩が

つ歓談を続けた。

ほろ酔いになった頃合いで、恒例の自己紹介と近況報告を行った。

坂田元丈氏(32卒)からは日専校の生い立ちや第1回の地区通信員を務め、また、初めての懇親会を20年前に実施したことを話された。みんなで聞き入り先輩たちに感謝するとともに、これからも継続していくことを誓い合った。

滑川修一氏(61卒)は会社を早期

に退職したが、農協と住友金属との合同出資会社の役職にあり、今後は同窓会の先輩たちも勤めている海外に生産地の一部を設立する予定。

菊地勝久氏(47卒)は蕎麦打ちを極めるため北海道に段を取りに行つて見事昇段し、その腕前を「常陸秋そば祭り」に発揮することのこと。

勿来から出席の山田隆義氏(39卒)は、平成30年度「いわきヒューマンカレッジ(市民大学)」を受講され、「敬天愛人への道・西郷隆盛」と題して自身のレポートをもとに講話され、西郷隆盛の知られざる生きざま

2018年日立北部地区懇親会開催

2018年11月10日、日立市滑川浜「長寿の湯」にて出席者19人が1年ぶりに再会し、今年もまた思い出に残る楽しい日立北部懇親会を実施した。

今回は懇親会の前座にギターアンサンブル「こんべいとう」によるギター演奏で開幕。なじみ深い「ローレライ」や「マイウェイ」の演奏、そして、みんなで歌おう!として「川の流れるように」、「瀬戸の花嫁」、「いつでも夢を」を全員で合唱し、アンコールとしてギターの名曲「禁じられた遊び」で閉幕した。当日の「こんべいとう」メンバーは5人で矢代満男氏(49卒)がリーダー的役割を演じ活躍された。

を知つたひと時であった。また恒例となった得意の詩吟を吟じていただき、宴も一段と盛り上がった。

予定の3時間も短く感じられ、最後は全員で校歌と寮歌を声高らかに歌い、その後菊地氏の手締めでお開きとなった。帰りには菊地氏が早朝に打つた新蕎麦を手土産に再会を誓つて散会した。(49卒 金子忠雄)

懇親会に先立ち全員で記念撮影、そして渡辺勝好氏(47卒)のユーモアたっぷりの司会により、堀川明治氏(49卒)の開会宣言、地区長・稲葉栄次氏(48卒)の地区活動報告があった。その後、常松實氏(38卒)(出席者最年長)の乾杯の音頭で歓談に入った。

出席者各自の5分間近況報告では、家庭における愛妻物語あり、趣味や自慢話、生きがいなど同窓会ならではの価値ある話に花が咲き、時の過ぎるのを忘れて、有意義な懇親会となった。

平塚宜之氏(58卒)(最年少)に



ギターアンサンブル「こんべいとう」による演奏のほか、皆で歌って楽しい地区懇親会となった

よる閉会の挨拶後、皆で円陣を組み、校歌を声高らかに歌った。また来年もお互い元気で再会できることを期して閉会した。(48卒 桐原進武)

日立中央地区

第5回懇親会を開催

2018年10月28日(日) 12時から当地区恒例の同窓会懇親会をアツトホームな

雰囲気のあるふれるレストラン「しいな」にて実施した。初参加3

人を含む計24人が集合し、杉山氏(51卒)の司会で懇親会がスタートした。中野地区長(48卒)の挨拶後、3人の物故者、伊藤文夫(31卒)、大部芳之助(33卒)、蛭田保夫(38卒)各氏に哀悼の黙とうを捧げご冥福をお祈りした。



先輩や後輩それぞれの分野で大活躍、さすがは日工同窓会だ

続いて同窓会本部の近況を豊田(49卒)から報告し、乾杯の音頭は一番若い太田鉄博氏(62卒)が力強く行い、懇親に入った。乾杯後の挨拶は最初に幹事を代表して力丸氏(45卒)が行った。

ここで、高安(68卒)市議が来場となり、会場の同窓生との十分な懇親に務めていた。アルコールが回り始めた頃を見計らい、各自順番に近況報告をお願いした。

紙面の都合で、主な紹介となるが大森氏(37卒)から、人間は食毎に歯でシッカリ噛むことが健康の秘訣であること。関氏(43卒)は後輩は先輩に頼ることも必要。住吉氏(31卒)は同期会に入会后、同窓会活動に参加し始めたこと。田中氏(59卒)はNS会ゴルフに参加して本部会員制度を知った。外岡氏(59卒)はコミセンの活動を始めたが、先輩の顔が多く心強い。小沢氏(46卒)は「神峰ささら」に親子3代にわたり従事して、伝統文化を守る重要性を

認識。水庭氏(44卒)は神峰公園の上から下まで毎日8千歩踏破を継続しており体調はすこぶる快調。一通りの近況報告終了を待って、高安市議の退座となり全員で激励の拍手で見送った。宴もたけなわとなり大いに懇親も深まった頃、ちよと予定の時間が迫ったこともあり、全員で校歌続いて寮歌を高らかに歌い、次の再会を約束して散会した。(49卒 豊田和明)

今回も村長が特別出席

「日工同窓会OB東海支部懇親会」

2018年11月11日(日)、平成30年度の懇親会を「ぼんどう太郎東海店」で会員10人参加により開催した。

地区長・橋本汎氏(46卒)の開会挨拶後、物故者の大内茂氏(45卒)、2018年8月死去 に対する黙とうを実施し、参加者の中で最長老の岸三男氏(39卒)の音頭で1年ぶりの再会に乾杯した。

その後、特別参加の山田修村長のご挨拶をいただき、恒例の参加者全員の写真撮影を行った。幹事の関田(53卒)まとめによる「参加者、欠席者の近況報告資料」を配布して報告した後、懐石料理に舌鼓を打ちながら酒を酌み交わし歓談した。その後、参加者各自から近況報告を行った。話題は学校時代のこと、



自治体の首長も特別に参加し、いろいろと話し合った

会社勤務の思い出話、地域の活動等多彩にわたるもので、楽しい歓談のひとつであった。

山田村長から、2019年開催のいばらき国体(東海村では阿漕が浦公園でのホッケー競技)の準備、公園の整備状況についてお話があり、安全な状況で皇族方をお迎えし、満席の状態で式典を行いたいとお話があった。

予定の時刻が近づき、別れを惜しみつつ、来年度の再会を誓って児島氏(61卒)の手締めで会を閉じた。(53卒 関田芳巳)

ヨソサン会(43卒)

磯崎の「丸徳旅館」で同期会

ちよつと暑さが和らいだ2018年10月4日(木)ひたちなか市磯崎の丸徳旅館で同期会を行った。

参加者13人。会場

は酒列磯前神社入口から徒歩1分の場所であり、阿字ヶ浦海岸を見下ろす坂上にある。海水浴客相手の民宿に近い。季節外れの今は老人会などの団体客が多く、栃木・群馬・県内では県西地区が多い午後3時集合。幹事室にぞくぞく集まる。宴会は6時なので、当然、ミニ宴会が始まる。近況や欠席者の状況など次々と話の夕ネは尽きない。宴会が近づく頃に、ようやく風呂に入る。沸し湯ながら一応は温泉。男女別の10人風呂と家族用らしき5人風呂の3つ。当日は、我々の他は、群馬の老人会男女20人ほどの団体だけ。宿泊部屋から海は見えないが、宴会場からは真下に阿字ヶ浦海水浴場が見える。遠方から参加の鶴町君の音頭で乾



神社の名前にちなんで?宴会前にミニ宴会、宴会後に二次会と盛り上がる

杯をし、宴会が始まる。ミニ宴会からの続きのように近況報告や昔語り盛りに上がる。頃合いを見計り、幹事の合図で次々にカラオケが始まる。最後に寮歌を熱唱して宴を終る。

足りない話は幹事部屋での二次会で夜が更けた。翌朝は早々と起きて風呂に入った。神社に参拝に行ったりしてから朝食を摂り、来年の再会を約して散会した。(綿引 明)

国分50会

日光・鬼怒川温泉方面へ

2018年10月9・10日、50卒(国)配属会員10人中6人が参加して日光・鬼怒川温泉方面への研修旅

行を開催した。多賀方面から友部君、東海方面から野仲君運転の車に分乗し、8時20分常陸太田駅に集合。幹事がスケジュールを説明、「ご安全に」の呼びかけで旅が始まる。

一昨日の暑さとはうって変わって清々しい初秋の風景の中を順調に突っ走る。御前山を過ぎたところでコンビニに寄りモーニングコーヒ。栃木県に入り茂木町から宇都宮を経て、日光杉並木に感じしつ快適に走行、12時過ぎに、世界遺産「日光の社寺」日光東照宮正門前駐車場に到着した。さっそく食事所を探すも老舗は団体客で満杯、やむなく小食堂で腹ごしらえ。表門を入ると平成

の大修理が完成し、鮮やかによみがえった三猿、いっそう色彩を放った陽明門が日暮の門のイメージを引き立てる。さらに唐門、眠猫、鳴龍等を拝観。14時過ぎには日光を後にし、1時間程で「ホテル鬼怒川御苑」に到着した。ホテルは大江戸温泉物語グループの一つ、「お着きのお茶と菓子」でくつろいだ後「いい湯」に浸かりリフ

レッシュ。夕食は大レストランでのバイキング、好みの料理をトレイ一杯にチョイス、車中や東照宮等の話に花が咲くも瞬く間に1時間半となりお開き。



平成の大修理が完成した世界遺産日光陽明門の前で

て延長戦、「俺はプール通いを7年間続けているが上達したかな」に対して、「水中歩行オンリーだよ」の声でしょう等々、健康には「早寝早起きが百薬の長」の締めで就寝へ。

翌朝は4時過ぎにはモゾモゾ、オープンを待つ朝風呂に入りすつきり。朝食は和洋のバイキング料理でまんぷく、玄関前で記念撮影。

8時半過ぎには最初の目的地「女夫淵温泉」へ向かう。走ることまもなく「龍王峽」の看板、渓谷にかかる虹見橋から見る巨大な岩と清流が織りなす渓谷美を満喫。川治温泉から川俣温泉へと進み、1時間余りで女夫淵駐車場に到着するも温泉ホテルがない?ハプニング(2013年の栃木県北部地震で廃業した故)。次の目的地「戦場ヶ原」へ、上りの狭い林道を進むに従って紅葉も進み

深みを増し、山王林道治山碑を過ぎた辺りの紅葉が真っ盛りのスポットで休憩し絶景を満喫。昼前には戦場ヶ原へ到着、昼食後、戦場ヶ原展望台で「戦場ヶ原って誰が戦ったところ?」(男体山と赤城山の神様が領地争いをした故)。トイレで手洗場を探すも見当たらない?(自然保護の観点から汚水排出を防いでいると小学生がうんぬん)。戦場ヶ原から10分余りで「龍頭の滝」に。紅葉真っ盛りのカメラスポットでシャッターオン。13時過ぎには帰途に着く。道中の48ヶ所のカーブが名前の由来の「いろは坂」を順調に通過、矢板方面から茨城県に入り「道の駅みわ」で最後の休憩。

年末恒例の同期会での再会を誓って散会した。皆さん、特にドライバーのお二人(400kmを走破)に感謝お疲れ様でした。(大山文雄)

「小平浪平翁記念会」 入会のお知らせ

小平浪平翁記念会は、栃木支部より事務局に紹介があり、副会長主催の会議において入会を決定したもので、この度日工同窓会で入会登録をしました。

本会は、栃木県出身で日立製作所創業者、小平浪平（1874～1951年）の顕彰団体「小平浪平翁記念会」が平成29年10月5日に発足しました。

発起人には、庄山悦彦日立製作所名誉相談役や栃木商工会議所の大川会頭ら6人の発起人代表を含む33人が名を連ねています。

栃木方面にお出かけの際は、栃木市都賀町合戦場にある生家にお立寄り下さい。

事務局 石井（58卒）



2018年度 本部総会のご案内

- 期 日：2019年3月30日（土）
- 場 所：日立シビックセンター マーブルホール
- 受付時間：14：30～14：50
- 第1部 総 会：15：00～15：50
- 第2部 懇親会：16：00～17：30

◎定年退職

ご苦労さまでした



◎退職
庄司 満男氏（62卒・那 珂 18・11・30

鈴木 英司氏（97卒・水 戸 18・10・31
佐藤 蕉太氏（99卒・建 機 18・12・31

掲載記事をお寄せ下さい

身近に起った出来事、小さな発見互いに注意したいこと、さらにはお国自慢など写真を添えて同窓会事務局までお寄せ下さい。なお写真は著作権、肖像権を侵害することのないようご注意ください。



▼昨年末から年明けにかけて、家族が入院する出来事が起きた。年越しそばやおせち料理を食べることもできず、慌しい年越しをするようになったのである。病院と自宅の往復を連日行い、必要な物を自宅から持つてくるだけの簡単なことも何処に何があるのか分からず、独り言ばかりの毎日。妻が不在になることで、こんなにも何もできなくなってしまうものなのかと。改めて妻に感謝することを覚えた年初となった。日常の当たり前のことは、支えてくれる人が存在して成り立っていることが多い。自分一人でできることは、限られたものだけと感じる。人に助けられ、そして助けることができる自分でいれるよう、周囲の人を大事にし、感謝を忘れない1年にしていききたいと思う。（と）

年賀状紹介

年始にあたり、本部会員の方々より年賀状を頂戴いたしました。ありがとうございます。
黒澤 光明（28卒）池田 武男（32卒）
関根 幸一（44卒）小島喜代一（48卒）
神代 光昭（48卒）萩野谷泰伸（50卒）
鈴木 章（51卒）

技能五輪競技風景

(課題に取り組む選手達)



メカトロニクス(右)
鹿野 流星(103卒)(日立AP・多賀)



メカトロニクス
児玉 陽平(100卒)
大貫 立行(102卒)(日立AP・多賀)



機械製図
植田 虹成(103卒)(HMS)



機械製図
沼畑 辰也(102卒)(日立HT)



メカトロニクス(左)
齋藤 晴児(102卒)(日立AMS・EN事)



メカトロニクス
塙 大樹(103卒)
青木 菜生(103卒)(日立AMS・PT事)



電気溶接
小泉 拓也(101卒)(イブ・つち)



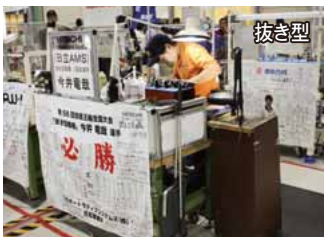
電気溶接
三代 和弥(101卒)(日)



電気溶接
三浦 涼(102卒)(HBS)



機械組立て
浦井 祝生(101卒)(イブ・つち)



抜き型
今井 竜哉(103卒)(日立AMS・PT事)



電子機器組立て
石崎 潤(103卒)(HBS)



電子機器組立て
金子 真由美(102卒)(HBS)



電気溶接
川崎 清勝(101卒)(日立パワー)



精密機器組立て
外園 将太(日立AMS)(EN事)



抜き型
森山 春貴(102卒)(日立AMS・走行事)



抜き型
小柳 隼人(103卒)(日立AMS・PT事)



抜き型
柴田 寛斗(102卒)(日立AP・多賀)



精密機器組立て
松田 雄輝(日立AP)(多賀)



精密機器組立て
橋本 可成(日立AMS)(EN事)



精密機器組立て
吉村 一輝(日立AMS)(PT事)



精密機器組立て
吉岡 秀訓(日立AMS)(PT事)



閉会式会場



今大会の各メダル(左から金・銀・銅・敢闘賞)



精密機器組立て
齋藤 智春(日立AP)(多賀)



精密機器組立て
長嶋 啓太(日立AMS)(PT事)